



雄物川上流

No.308 発行日 令和3年10月29日
国土交通省 東北地方整備局
湯沢河川国道事務所 十文字出張所
〒019-0522
横手市十文字町字西上38-3
TEL 0182-42-0109



今年度
2回目

堤防徒歩点検を実施しました



堤防の安全性を確認するため、今年度2回目となる堤防徒歩点検を実施しました。
十文字出張所管内の雄物川・皆瀬川・成瀬川沿いの堤防約100kmを点検した結果、緊急を要する大きな問題は確認されませんでした。

今後も河川巡視パトロールと連携しながら堤防の管理を行っていききたいと思います。

点検の様子



工事現場紹介

雄物川上流福島・大久保地区災害復旧工事



2019年10月に発生した台風19号は、日本の広い範囲で大雨、暴風、高波、高潮となり、雨については、総降水量が東日本を中心に17地点で500ミリを超えました。特に静岡県や新潟県、関東甲信地方、東北地方の多くの地点で、時間降水量などが観測史上1位の値を更新するなど記録的な大雨となりました。

この台風の爪痕は、雄物川にも残ることとなり、令和3年度「雄物川上流福島・大久保地区災害復旧工事」として、横手市十文字町睦合福島川原～羽後町大久保地内で工事を行っています。写真は、羽後町大久保地内で行われている河道内へ消波根固(※1)ブロックを設置する作業の様子です。この消波根固ブロックの設置により、増水した河川の水で、河岸や河底が削られていくことを防ぐ効果があります。今後、本格的に工事を行う福島地区は、河岸を護岸(※2)工事により復旧することになります。

※1 根固とは、洪水により、深掘した河底を復旧させる方法のひとつ

※2 護岸とは、河岸を守るために設置された施設の名称(今回は、洪水により、削れた河岸を復旧させるために設置)

工事現場の様子

